

2/1 (月) 温かいご寄附ありがとうございます  
沖縄県出店業事業協同組合より寄附金贈呈



県内の祭りや催事、イベント等で出店をしている沖縄県出店業事業協同組合(伊波清一理事長)より、市育英会へ寄附金の贈呈がありました。伊波理事長は、「正月に出店している皆さまから募っての寄附金となっています。子どもたちや福祉に役立てていただきたいです」と話し、松川市長は、「コロナ禍で、イベント等が中止となった大変厳しい状況の中、市の福祉事業への寄附をいただき、本当にありがとうございます」と感謝しました。

2/5 (金) 温かいご支援ありがとうございます  
CAFÉ UNIZONからお米の寄贈



カフェ・ユニゾンの三枝克之代表が市役所を訪れ、支援を必要としている世帯へ配布してほしいと、お米の寄贈がありました。ユニゾンでは、市や普天間3区こどもの居場所と連携してお弁当の配食支援を行っており、今回の寄贈については、店内に設置した募金箱へお客様からの募金とお店からの寄附を合わせて購入したお米となっています。三枝代表は、「コロナ禍でも食糧に困らない世の中になればと思います」と話しました。

1/13 (水) オンラインで繋がる子どもたち  
山形県金山小学校と児童交流を実施



大山小学校と金山小学校によるオンライン交流が中部広域と山形県の最上広域市町村圏事務組合の主催で開催されました。本事業は、平成元年より続いている山形県の児童との交流が、新型コロナの影響により中止となったため、オンラインでの実施となりました。交流では、互いの地域をクイズ形式で発表したり、それぞれの地域食材を給食で食べたりしました。参加した児童は、「冬の山形に行ってみよう」などの感想がありました。

1/18 (月) 花で彩る明るい地域を目指して  
愛知高層住宅へフラワーポットを贈呈



宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会より、愛知高層住宅自治会へフラワーポットが贈呈されました。本事業は、同自治会をモデル地域として、通学路において地域住民が登下校時間帯の水やりを通じて、児童生徒の見守り活動を行い、犯罪のない社会づくりの実現を目的としています。山城美奈子自治会長は、「頂いたフラワー等は、人を笑顔にし、実のなる木を通じて実感していただけるものと思っています」と感謝しました。

2/8 (月) 温かいご支援ありがとうございます  
アトムホームよりお米の寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役)より、お米(3kg)190袋、ポーク缶詰120缶の寄贈がありました。継続した支援をしていきたいとの思いから、今回で6回目の寄贈となっています。来庁した宮平宗幸取締役専務は、「市内外でも支援の輪は広がってきており、弊社としても、ゆいまーの精神を伝えたいと思っています。それを子どもたちが受け継いでいって、優しい世の中になっていければと願っています」と話しました。

2/12 (金) 普天間高等学校女子空手部  
全国高等学校空手道選抜大会へ出場



普天間高等学校女子空手部の関係者が松川市長を訪ね、3月に開催される「第40回全国高等学校空手道選抜大会」への出場を報告しました。同空手部は、女子団体型で昨年、県大会で準優勝し、九州大会で第3位の成績を修め全国への出場となりました。普天間高校2学年の座間味さんは、「結果が残せるよう頑張りたいです」と話し、主将の伊良善さんは、「全国では、ベスト8以上を目指して頑張ります」と決意を述べました。

1/21 (木) 温かいご支援ありがとうございます  
アトムホームよりランドセルを寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉代表取締役)より、ひとり親世帯等の子どもたちへランドセル9個の寄贈がありました。希望する色のランドセルを受け取った子ども達は目を輝かせ喜んでいました。宮平代表取締役は、「ランドセルには、私たちアトムホームの愛が詰まっています。子どもたちには、本をいっぱい読んでもらって、将来の夢を叶えるために努力してほしいです」と話しました。

1/25 (月) 温かいご支援ありがとうございます  
富士建設よりマスクの寄贈



株式会社富士建設(手登根明代表取締役)より、不織布マスク1万枚の寄贈がありました。手登根代表取締役は、「新型コロナウイルス感染症が流行の中、市職員の方々も、感染症対策を行いながらの窓口業務等大変だと思います。今回、使い捨てのマスクを持ってきましたので、少しでもお役に立てれば幸いです」と話しました。頂いたマスクは、市役所業務での活用やエッセンシャルワーカーの方々へ配布を行う予定となっています。

2/15 (月) ネットを通じたサービスの向上を目指して  
BWA同意書手交式



ジャパンインテグレーション株式会社(新田純也社長)へ、地域BWAサービス実施の同意書を手交しました。BWAとは、総務大臣より認可された事業者が市町村と連携し、地域の公共の福祉に役立てるよう、高速データ通信を提供するサービスです。松川市長は「これからさまざまな展開をしていくと思いますが、より良いものができる運用をしたいと思っています」と話しました。今後、さまざまな場面での活用が期待されます。

2/17 (水) マイナンバーカードで証明書が取得できます！  
市役所に証明書交付機を設置



市役所1階に証明書交付機を設置しました。マイナンバーカードを使用して、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写し及び所得課税証明書を取得することができます。松川市長は「マイナンバーカードがあれば、短い時間で証明書を取ることができます。今後も市民の利便性向上に努めます」と話しました。本交付機設置により、窓口の混雑緩和、対面時間減少による感染症対策などが期待されています。

1/27 (水) より良いまちづくりのために  
第四次宜野湾市総合計画答申書を手交



宜野湾市振興計画審議会(瀬口浩一会長)より、答申書の手交がありました。当審議会は、本市のまちづくりの基本となる「宜野湾市総合計画後期基本計画」の原案内容を、さまざまな視点から調査・審議し提言を行う機関で、学識経験者及び市区内の公共的団体役員等で構成されています。瀬口会長は、「委員の熱い思いや事務局の協力もあり、活発に議論を進めてきました。宜野湾市の今後の発展を願っています」と話しました。

2/1 (月) 住民の立場から地域を支える  
民生委員へ委嘱状を伝達



民生委員委嘱状伝達式が市役所で行われ、石川美智子さん、新垣美智子さんへ、松川市長より厚生労働大臣と沖縄県知事からの委嘱状が伝達されました。民生委員は、地域住民から選ばれ、自らも住民の一員という自覚をもって住民の見守りや相談活動を行う特別職の地方公務員となっています。石川さん、新垣さんともに、「先輩民生委員の皆さんや自治会長にご指導をいただきながら頑張りたい」と話しました。